

目標: イザヤに代表される旧約の預言は主イエスを指していることを知り、その到来を待望する。  
 聖句: 「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の父」  
 時間: 10分  
 道具: ホワイトボード、ペン  
 対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5  
 留意点: アドベントに入る。季節がらと、前回まで旧約聖書に取り組んできたことを、踏まえて取り組みたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	イエス様の時代から750年くらい昔、イザヤという預言者がユダ王国にいました。強い敵が攻めてきたとき、彼は本日の預言をしたのです。		今回の課題確認は、預言がなされた背景の提示とする。 アッシリアの名は、出しても出さなくても良い。
課題探究	6分	これはこの時王宮にだれか妊婦がいて、その人が出産し終わるまでに、この戦いは勝利するとの預言と考えられています。 ところがこの預言が成就した後も、人々はこの御言を将来起きる預言として受け取ってきました。なぜなら、その男の子は、不思議な助言者ではなかったの、歴史に名前が残っていないからです。 いったい誰のことを言っていると思いますか？ なぜそう思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イエス様</li> <li>・イエス様は不思議な助言者だから</li> <li>・イエス様は力ある神だから</li> <li>・平和の君だから</li> <li>・分からない</li> <li>・何となく</li> </ul>	ヒゼキヤ王だとする説などもあり、断言する必要はないだろう。  恐らくこれは容易に出てくると思われる。  先の答えがあつたら、そのような経験をしたかどうか問うてみる。 なぜそう思うか問うてみる。予想外の証詞が出てくるかもしれない。
まとめ	2分	私たちでも、なぜかは解らないかもしれませんがね。 すると、イエス様は、その御降誕の750年も前から、その来臨を期待されていたことになります。 アドベントは、イエス様が来られるのを期待しながら、迎える準備をする期間です。 イザヤたちの救い主への期待に神様は答えて下さいました。私たちもそれに倣って、イエス様を迎える準備を始めて行きましょう。 神さまは真実な方です。主の約束を信じましょう。		恐らくこれが一番正解に近いのではないだろうか。 とにかく挙げさせ、対話をし、その子供の考えの背後にあるものを読み取るようにしたい。 一つ意見が挙がったら、他の子にそのままぶつけ、あなたはどうか考えるかと問うてみる。 とりあえずまとめる。 この感覚は、信じる人が経験する不思議だと思うので、無理に理由付けをしなくても良いと思う。  上記のまとめからの展開である。  アドベント第一週とつなげる。
		暗誦聖句		全体のとまとめ 子供たちの理解力に応じて、まとめのアドベントに触れる箇所は省略しても良い。 183号テキスト全体のテーマからの反映として、この事柄を信じさせたい。

目』と呼ばれる。イザヤ9:6」